

提出順	13	発言順	10	令和4年11月28日 午前・午後 4時25分受領
-----	----	-----	----	-----------------------------

(3枚中No.1)

令和4年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	1 「水は次世代からの預かりもの」に基づく「地下水の保全とかん養」について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 「第2次安曇野市総合計画 後期基本計画」で「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」という将来ビジョンが打ち出された。この将来ビジョンに、市長はどのような思いを込められたか。また、これは各部局の抱える様々な基本計画の基と考えてよいか。
- 2 市環境基本計画とそれを踏まえた水環境計画（マスタープランとアクションプラン）（令和4年3月版）には、この将来ビジョンは織り込まれているのかいないのか。いるとすればどのように織り込まれているのか。市民生活部長に伺う。
- 3 さらに、「後期総合計画」の目標4「自然と暮らしやすさが調和するまち」の施策と、水環境計画（令和4年3月版）の関係はどのようなものになるのか。市民生活部長に伺う。
- 4 10月28日、松本で行われた「地下水学会」で提起された「安曇野市の課題」をどう展開し、解決していくのか。次の3点について、市長に伺う。
 - ① 市の揚水量の「閾値」（いきち）設定は、わさび栽培農家の切実な声に応え、三川合流地域での湧水を1cm 下げないための揚水量はここまでという値と考えてよいか。上流地域での揚水量をどのようにとらえ考えているか。
 - ② 「アルプス地域地下水保全対策協議会」参加の各自治体に「閾値設定」をこれまで以上に強く提唱し、松本盆地全体の「閾値」を設定したらどうか。
 - ③ 「法律の壁」（人為的な涵養施策「転作田かん養や水田湛水延長事業」が「国土交通省 北陸整備局 千曲川河川事務所」から「河川水の使用は、灌漑水利権の目的外使用」と指摘され、この事業が実施できなくなった）をどう乗り越えるか。全国のこのような共通課題を持つ自治体と

提出順	13	発言順	10	令和4年11月28日
				午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 <input type="checkbox"/> 時25分受領

(3枚中No. 2)

令和4年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	1 「水は次世代からの預かりもの」に基づく「地下水の保全とかん養」について		
連携し、国の方針を変えるような取り組みを展開していくべきではないか。 5 涵養策の補助的な「協力金」から、「水資源の活用」に「安曇野産(取水)」の公認ブランドという付加価値をつけた「資金調達」を考え、検討していくべきではないか。市長に伺う。			

提出順	13	発言順	10	令和 4 年 11 月 28 日
				午前・ 午後 4 時 25 分受領

(3 枚中 No. 3)

令和 4 年 11 月 28 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員

井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input checked="" type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	2 安曇野市のインボイス制度のとらえ対処		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

来年、令和 5 年 10 月 1 日からインボイス制度が実施されるが、これについて市はどのように考え、どう対処されるのか。

- インボイス制度にどのように対処されるのか、一般会計について総務部長に伺う。
- 令和 4 年度予算に「インボイス対応のシステム改修費」を盛り込んだ上下水道部に伺う。諸工事の発注の応札条件に事業者インボイス制度の登録を求めるのか。落札事業者は結局登録事業者だったということにならないか。

(確認 インボイス制度実施に当たり一般会計や企業会計について、国の通知などはあったか。あったとすればどのような内容で、かかわる事業者にはどのような説明をされたのか。)

- 学校給食の食材購入で、地元農家や小売業者にインボイス登録を求めるのか。食材費の高騰に加えインボイス対応で、給食費を値上げや地産地消への影響はないか。教育部長に伺う。

- シルバー人材センターと登録者がインボイス制度によって、消費税負担増にならないようにすべきではないか。福祉 部長に伺う。

(確認 当市としてシルバー人材センターへの補助金や委託業務の単価を引き上げるべきではないか。)

- 市の財政を担う小売業者や自営業者へのインボイス制度の実施について、どのように対処されるのか。市内経済への影響、小売業や自営業者の支援について商工観光 スポーツ部長に伺う。

- 市長は、市としてできることを明らかにし、影響がある小売業や自営業者を支援する取り組みをすべきではないか。また、市長会等を通じ、インボイス制度の中止や実施開始の延長、特例措置などを国に対し、強く求めていくべきではないか。市長の考えを伺う。